



だいたいの
収量アップに

Harmozyme

ハーモザイム®

植物由来成分入り葉面散布用肥料

ハーモザイムは、ドローンや無人ヘリによる
空中散布も可能です！

ハーモザイム だいたいの空中散布による標準的な使用方法



本剤の標準使用量： 原液 1ℓ/1ha

希釈倍率（散布量）： 8倍（8ℓ/1ha）

16倍（16ℓ/1ha）

散布時期： 着蕾期～開花初期に1回散布

ここが
ポイント

散布時期が遅れると、十分な効果が得られません。
着蕾期～開花初期が散布適期です。

1.1kg
(約1ℓ)



ハーモザイムの使用方法により期待される効果

ハーモザイムの基礎評価

ハーモザイムを与えた植物は、植物ホルモンである
サイトカイニンを生産するための酵素タンパク質の活性
が促されることがメキシコ アントニオナロ国立農業自治
大学の基礎的評価により明らかにされました。

サイトカイニンとは(参考情報)

- 植物の細胞分裂に必須の植物ホルモン。
- 植物体内では、根で作られ、水分と一緒に地上部へ移動します。
- 葉の老化を抑制し、光合成を活性化します。
- 側枝の伸長を促進します（オーキシンとのバランスによる）。
- 豆類のさや落ちを抑制します。

花落ち
の防止

さや数、子実数
の増加

不稔さや
の減少

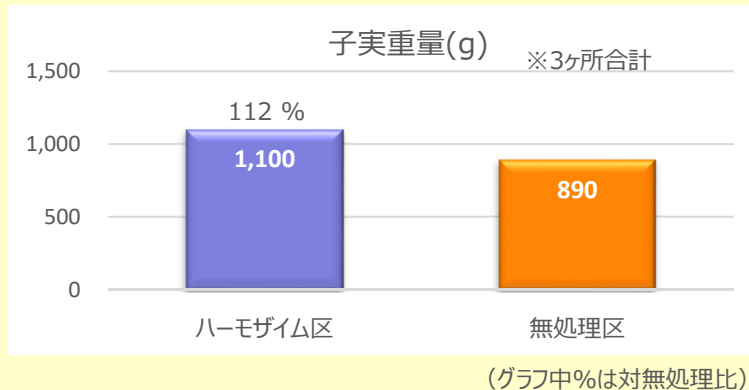
3粒さやの
割合増加

だいたいの増収と
品質向上に！

アスタライフサイエンス株式会社

■ ドローン散布試験事例① 滋賀県近江八幡市（2019）

- 供試作物：大豆（品種：ことゆたかA1号）
- 栽培情報：6月25日播種、11月26日収穫調査
- 散布時期：開花初期（8月21日）
- 処理方法：ドローン散布（8倍希釈、0.8L/10a）
- 収量調査：各試験圃場あたり畝長2.5mずつ3ヶ所（右手前、中央、左奥）の植付株の子実を計量比較。

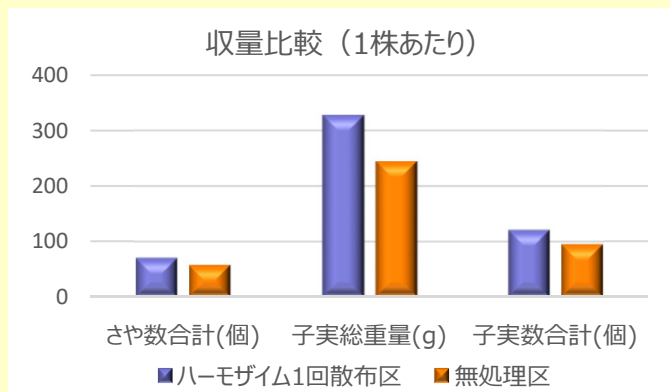


結果：
ドローンによるハーモザイムの高濃度少量散布で大豆の子実重量の増加が確認された。

(グラフ中%は対無処理比)

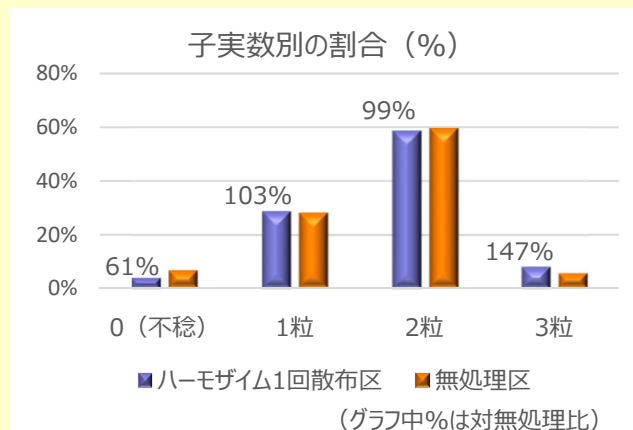
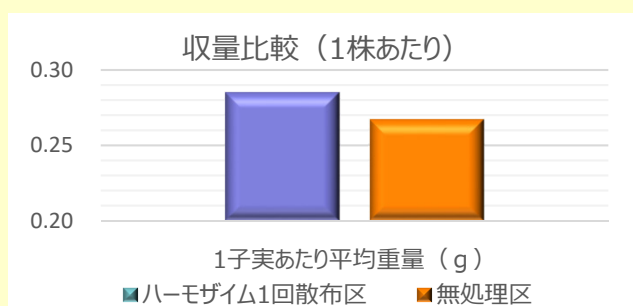
■ ドローン散布の試験事例② 三重県松阪市（2019）

- 供試作物：大豆（品種：フクユタカ）
- 栽培情報：7月下旬播種、11月28日収穫調査
- 散布時期：開花初期（9月13日）
- 処理方法：ドローン散布（8倍希釈、0.8L/10a）



結果：

- ドローンによる高濃度少量散布で、莢数、子実総重量、合計子実数、1子実あたりの重量で増加が確認された。
- 不稔莢が減少し、増収効果が確認された。



(グラフ中%は対無処理比)

使用上の注意

「使用上の注意」 ご使用前にラベルをよくお読みください。

●使用前によく振ってからお使いください。 ●使用量に合わせ、散布液を調製し、使いきってください。 ●調製した散布液はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布してください。 ●高温時には、日中の散布をさけてください。 ●強いアルカリ性の農薬・肥料等との混用はさけてください。

「安全使用上の注意」 飲用不可。飲まないでください。

●小児の手の届くところには置かないでください。 ●誤飲などのないように注意してください。 ●原液は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないように注意してください。 目に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の診察を受けてください。

保管・・・密栓し、火気や直射日光をさけ、食品と区別して、冷暗所に保管してください。

アリスタライフサイエンス株式会社

〒104-6591 東京都中央区明石町8-1

TEL: 03-3547-4415

ハーモザイム

検索

21.03/HZ-D①/A